

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 「復興元年」を教育振興運動で！～

< 目次 >

- 1 【運動推進】教育振興運動推進研修会はじまる（盛岡地区研修会より）
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

ここをクリック⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★ 「Hand In Hand」の楽譜

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24handinhandgassyou.pdf>

★ 「ココロの風」手話歌詞カード

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24kokoronokazesyuwa.pdf>

- 1 【運動推進】教育振興運動推進研修会はじまる（盛岡地区研修会より）

県内7か所で各教育事務所が主管する教育振興運動推進研修会が始まりました。6月5日に開催された盛岡地区研修会は、さわやかな風が吹く“くずまき高原牧場”を会場とし、社会教育主事のPDCAサイクルで進める運動のあり方や地域連携窓口教員の役割の説明の後、指導主事から盛岡地区の家庭学習や読書推進の状況を具体的なデータをもとに提示し、問題提起をしたのでした。

午後からは、その問題提起を受けて、「東大合格生のノートはかならず美しい」の著者である太田あやさんから「学力・体力テスト日本1！ 福井県のヒミツ」と題した講演をいただきました。

福井県では、宿題を家庭学習の中心に据え、それに必ず取り組む・・・という“当たり前のことを当たり前にやっている”とのことでした。岩手県においても、学校から授業と連携させた宿題が出されていることと思います。果たして、それをやるのが当たり前・・・と必ずやらせているのでしょうか？子どもたちは、宿題を当たり前のこととして取り組んでいるのでしょうか？

福井県は、「家庭学習＝宿題＝必ずやるもの」とシンプルに取り組んでいます。宿題を出しっぱなしにせず、褒め、授業に活かす熱心な先生、宿題をやる環境を整え見守る親、価値観のブレない周りの大人に励まされ自分のこととして宿題に取り組む子ども・・・それぞれの役割を責任を持って取り組んでいます。

これは、教育振興運動の理念そのものであり、他県から教えてもらうことではなく、岩手県から全国に紹介すべきことではないかと思い、聴いていました。

太田さんは、素直に宿題をやり続けた子どもは、基礎学力を身に付け、「逆算力・律する力」といった自学自習に必要な力を身に付けることができる。自分の人生をつくり、自分の素質を伸ばすことにつながる・・・とまとめていました。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) あと4日～！あと4日ったら、あと4日～！ ルルルルル～！

(振ちゃん) どうしたの？教ちゃん。

(教ちゃん) 6月16日(土)のIBC岩手放送『じゃじゃじゃTV』に清心ちゃんが出演するのよ。

(振ちゃん) き・き・清心ちゃんが～？

(教ちゃん) そうなのよ。ホント、どの衣装にしようかしら？迷うわ～。

(振ちゃん) えっ？なんで、教ちゃんがそんなに浮かれているの？

(教ちゃん) 私たちは、「Hand In Hand」のCDにもアルバムジャケットにも写っているのよ。次のねらいは、テレビ出演よ。うふふ・・・。

(振ちゃん) その顔・・・何か企んでいるね。越後屋、おぬしも悪じゃの～。

(教ちゃん) お代官様にはかないませぬ。♪清心ちゃん、君はひとりじゃない。IBC、一緒に行こうよ～♪

(振ちゃん) 替え歌でごまかして・・・。そうそう、5月30日に「矢巾町教育振興運動推進委員会総会」に行ってきたのだけど、その時、矢巾町教育委員会が作った僕たちのフェルト製ペープサートを見せてもらったんだ。とても、上手に作っていたよ。

(教ちゃん) このコーナーの私たちの会話がヒントとなって、寸劇で教育振興運動の紹介ができれば・・・ということから作り始めたのだから。

(振ちゃん) うれしいな。人形劇としてもデビューする日が近いつてことだよ。

(教ちゃん) そ～れ～♪ゆけえ～♪プリン♪プリン♪

3 【編集後記】あつしのひとりごと

ある日、グリーンピア三陸宮古の仮設住宅で、避難生活をしている高齢者・障がい者を支援している田老サポートセンターからお電話をいただきました。仮設住宅に教育振興運動イメージソングの歌詞に応募した方がいらっしやって、自分の応募した歌詞は採用されなかったのだけれど、是非「Hand In Hand」を聞きたいとおっしやっている・・・とのことでした。

「Hand In Hand」は、『まなびネットいわて』のホームページから聴くことができるのですが、仮設住宅ではそのような環境が整っていないと思い、「日曜日に、CDを持って行きます！」と答えました。

日曜日……。サポートセンター主催の運動教室を終えたおばあちゃん12名と障がいを持った方2人が集まってくださり、みんなで「Hand In Hand」を聴いたのですが、障がいを持った方のひとりが肩を震わせてずっと泣いていました。

両親を津波で亡くし、障がいを持った弟とふたりで仮設住宅で暮らしているとのこと。この方が歌詞を応募して下さった方でした。作詞者として採用されていないけれど自分の思いが歌詞の中に入っているとおっしゃり、いろいろな思いがこみあげてきて涙が流れたのだと思います。

CDをサポートセンターに贈呈し、いつでもここに来れば「Hand In Hand」を聴くことができ、つらい思いを涙と一緒に流すことができるからね……。そう言って田老を後にしました。

歌の持つ力にこちらも感動するとともに、まだまだ復興は始まったばかりという思いを新たにしました。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第71号は、6月26日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～69号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

～～～